



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社三菱総合研究所  
コード番号 3636 URL <http://www.mri.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大森 京太

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 河内 裕

TEL 03-6705-6001

四半期報告書提出予定日 平成26年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	67,830	7.4	5,109	6.0	5,428	8.5	2,956	11.7
25年9月期第3四半期	63,157	10.1	4,817	72.0	5,005	69.5	2,647	129.4

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 3,518百万円 (△6.2%) 25年9月期第3四半期 3,752百万円 (160.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	180.04	—
25年9月期第3四半期	161.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	63,840	42,022	57.2
25年9月期	61,047	40,115	55.7

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 36,536百万円 25年9月期 34,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	15.00	—	20.00	35.00
26年9月期	—	20.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,800	7.0	5,500	2.4	5,650	1.5	2,940	1.9	179.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期3Q	16,424,080 株	25年9月期	16,424,080 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年9月期3Q	198 株	25年9月期	198 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	16,423,882 株	25年9月期3Q	16,423,974 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従って、予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(四半期連結貸借対照表関係) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	9
(株主資本等関係) .....	9
(1株当たり情報) .....	10
4. 補足情報 .....	11
受注及び販売の状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年10月1日～平成26年6月30日)のわが国経済は、内需の堅調により、回復基調を維持しました。消費税増税後は、駆け込み需要の反動減が生じていますが、雇用情勢の改善や賃金の上昇など所得環境の回復が、下支え要因となりました。投資面でも、企業収益改善から設備投資は持ち直しの動きが継続しました。また、海外経済は、新興国がやや減速しているものの、総じてみれば持ち直しに転じました。

このような環境下、当社グループは品質及び顧客満足度を最優先しつつ、シンクタンクとして培った科学的手法をはじめ、総合的な機能・サービスを最大限に活用して事業展開を進めました。特に、震災復興支援に積極的に取り組むとともに、新たな社会の枠組みの創出や、民間企業の事業戦略・業務革新にかかるコンサルティング、金融機関向けのシステム構築などを推進しました。また、お客様や社会に対する提供価値を高めるべく、「Think & Act Tank」のコンセプトのもと、新たな事業展開に取り組みました。

こうした結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は67,830百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益は5,109百万円(同6.0%増)、経常利益は5,428百万円(同8.5%増)、四半期純利益は2,956百万円(同11.7%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (シンクタンク・コンサルティング事業)

当第3四半期連結累計期間は、官公庁向けでは、放射性物質の除染をはじめとする政策支援案件、気候変動・自然災害リスクの評価、国の科学技術政策や国際標準化戦略に関する調査案件、民間向けでは、金融機関向けのコストマネジメント案件、中長期の事業戦略に関するコンサルティング案件などが売上に貢献しました。その結果、売上高(外部売上高)は21,198百万円(同15.9%増)、営業利益は2,481百万円(同9.4%増)となりました。

#### (ITソリューション事業)

当第3四半期連結累計期間は、民間向けでは、金融機関のシステム基盤整備・リスク関連システム案件、顧客データ分析案件、官公庁向けでは、業務支援システムの設計・開発支援案件などが売上に貢献しました。その結果、売上高(外部売上高)は46,632百万円(同3.9%増)、営業利益は2,682百万円(同2.1%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて2,792百万円増加し、63,840百万円(前年度末比4.6%増)となりました。内訳としては、流動資産が35,879百万円(同0.3%減)、固定資産が27,960百万円(同11.5%増)となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が2,665百万円減少する一方、現金及び預金が2,503百万円増加しております。固定資産の主な増加要因として、グループ情報システムの構築に伴い無形固定資産が1,019百万円、株式会社JBSの株式取得等に伴い投資その他の資産が1,519百万円それぞれ増加しております。

負債は、前連結会計年度末と比べて886百万円増加し、21,817百万円(同4.2%増)となりました。これは主に、賞与引当金が1,465百万円、未払法人税等が671百万円それぞれ減少したものの、流動負債のその他が2,739百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて1,906百万円増加し、42,022百万円(同4.8%増)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、平成25年10月31日公表の数値から変更ありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### （4）追加情報

（法人税率の変更等による影響）

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成26年法律第10号）が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。

これに伴う税率変更により、当第3四半期連結累計期間において、未払法人税等が85百万円増加し、法人税等は同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,185	12,689
受取手形及び売掛金	10,922	8,256
有価証券	5,999	5,998
たな卸資産	5,803	5,543
繰延税金資産	1,880	1,876
その他	1,196	1,520
貸倒引当金	△8	△4
流動資産合計	35,979	35,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,926	6,651
機械装置及び運搬具（純額）	2	1
工具、器具及び備品（純額）	1,564	1,828
土地	720	720
リース資産（純額）	763	1,251
建設仮勘定	174	53
有形固定資産合計	10,153	10,507
無形固定資産		
ソフトウェア	1,988	2,083
ソフトウェア仮勘定	1,962	2,825
その他	248	308
無形固定資産合計	4,198	5,217
投資その他の資産		
その他	10,720	12,239
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	10,715	12,235
固定資産合計	25,067	27,960
資産合計	61,047	63,840

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,883	3,481
未払金	1,211	1,250
未払費用	1,036	1,186
未払法人税等	1,668	997
賞与引当金	3,438	1,972
受注損失引当金	48	5
その他	1,705	4,444
流動負債合計	12,991	13,338
固定負債		
退職給付引当金	7,432	7,657
その他	507	822
固定負債合計	7,940	8,479
負債合計	20,931	21,817
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,336	6,336
資本剰余金	4,851	4,851
利益剰余金	21,704	24,004
自己株式	△0	△0
株主資本合計	32,891	35,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,131	1,333
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	9	11
その他の包括利益累計額合計	1,141	1,344
少数株主持分	6,082	5,486
純資産合計	40,115	42,022
負債純資産合計	61,047	63,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	63,157	67,830
売上原価	49,658	53,213
売上総利益	13,498	14,616
販売費及び一般管理費	8,680	9,507
営業利益	4,817	5,109
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	87	182
持分法による投資利益	61	95
その他	45	51
営業外収益合計	197	331
営業外費用		
支払利息	7	12
投資事業組合運用損	2	—
その他	0	0
営業外費用合計	9	12
経常利益	5,005	5,428
特別利益		
固定資産売却益	15	0
投資有価証券売却益	18	—
補助金収入	—	1
その他	0	—
特別利益合計	34	1
特別損失		
固定資産除却損	8	20
事務所移転費用	10	—
その他	6	4
特別損失合計	26	25
税金等調整前四半期純利益	5,013	5,405
法人税等	2,038	2,131
少数株主損益調整前四半期純利益	2,974	3,274
少数株主利益	327	317
四半期純利益	2,647	2,956

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,974	3,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	754	244
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	9	2
持分法適用会社に対する持分相当額	13	△1
その他の包括利益合計	777	244
四半期包括利益	3,752	3,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,285	3,160
少数株主に係る四半期包括利益	467	358

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	シンクタンク・ コンサルティング事 業	ITソリューション 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	18,282	44,874	63,157	—	63,157
セグメント間の内部売上高 又は振替高	284	1,435	1,720	(1,720)	—
計	18,567	46,310	64,877	(1,720)	63,157
セグメント利益	2,268	2,626	4,895	(77)	4,817

(注) 1. セグメント利益の調整額△77百万円には、セグメント間取引消去△49百万円、たな卸資産の調整額2百万円及び固定資産の調整額△31百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	シンクタンク・ コンサルティング事 業	ITソリューション 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	21,198	46,632	67,830	—	67,830
セグメント間の内部売上高 又は振替高	245	1,841	2,087	(2,087)	—
計	21,443	48,474	69,918	(2,087)	67,830
セグメント利益	2,481	2,682	5,164	(55)	5,109

(注) 1. セグメント利益の調整額△55百万円には、セグメント間取引消去4百万円、たな卸資産の調整額1百万円及び固定資産の調整額△61百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

## (四半期連結貸借対照表関係)

## 偶発債務

## 債務保証

次の保証先について、金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成25年9月30日)		当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)	
従業員（住宅資金等借入債務）	11百万円	従業員（住宅資金等借入債務）	10百万円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
減価償却費	1,596百万円	1,558百万円
のれんの償却額	72	70

## (株主資本等関係)

## I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年10月1日 至平成25年6月30日）

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年12月19日 定時株主総会	普通株式	246	15.0	平成24年9月30日	平成24年12月20日	利益剰余金
平成25年4月26日 取締役会	普通株式	246	15.0	平成25年3月31日	平成25年6月4日	利益剰余金

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年10月1日 至平成26年6月30日）

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年12月18日 定時株主総会	普通株式	328	20.0	平成25年9月30日	平成25年12月19日	利益剰余金
平成26年4月25日 取締役会	普通株式	328	20.0	平成26年3月31日	平成26年6月4日	利益剰余金

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	161円18銭	180円04銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	2,647	2,956
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	2,647	2,956
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,423	16,423

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 4. 補足情報

## 受注及び販売の状況

## (1) 受注状況

受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)			
	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
シンクタンク・コンサルティング事業	20,523	14.8	17,993	21.0
ITソリューション事業	48,398	7.0	43,463	5.0
ITコンサルティング・システム開発	33,587	6.9	25,791	7.9
アウトソーシングサービス	14,811	7.4	17,671	1.0
合計	68,921	9.2	61,456	9.2

- (注) 1. セグメント間の取引は、相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. 継続的に役務提供を行い実績に応じて料金を受領するサービスにつきましては、当第3四半期連結会計期間末後1年間の売上見込みを受注残高に計上しております。

## (2) 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)	前年同四半期比 (%)
シンクタンク・コンサルティング事業 (百万円)	21,198	15.9
ITソリューション事業 (百万円)	46,632	3.9
ITコンサルティング・システム開発 (百万円)	31,909	1.3
アウトソーシングサービス (百万円)	14,722	10.1
合計 (百万円)	67,830	7.4

- (注) 1. セグメント間の取引は、相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。